



第2章

芝生化する場所を決めよう

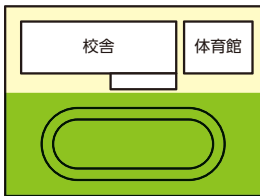
この章では校庭・園庭の芝生レイアウトを御紹介します。
敷地全体のバランスや使用方法などを考えながら、
芝生を張る位置を計画しましょう。
また、芝生の生育に適さない場所もありますので、
計画する際は留意してください。

芝生のレイアウト(校庭)

ポイント!

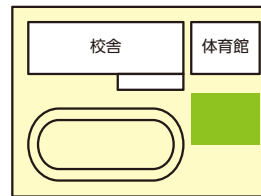
児童・生徒数、日照時間(ティフトン芝の場合6時間以上/1日)、給排水設備の配置、維持管理のしやすさ、芝生と砂地との使い方等を考慮しましょう。

1 全面芝生化



芝生化の効果を一番感じることができる

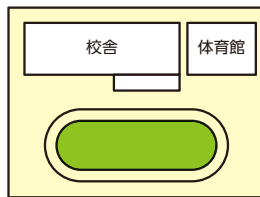
2 一部芝生化



芝生の傷みが少なく、管理がしやすいレイアウト

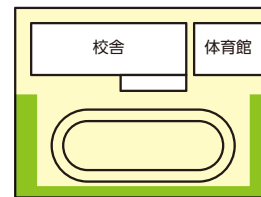
第2グラウンド

3 トラック内周芝生化



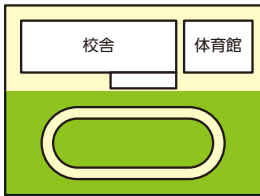
外周部にバスケットゴールや遊具がある場合におすすめ

4 トラック外周芝生化



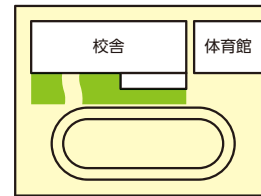
近隣住宅地への砂ぼこりの飛散が防止できる

5 トラックを除く芝生化



運動会や体育の授業にも使いやすいレイアウト

6 アプローチ空間の芝生化



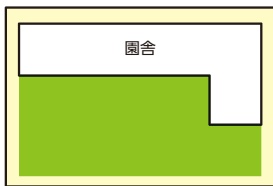
景観向上のほか、校舎への照り返しが軽減できる

芝生のレイアウト(園庭)

ポイント!

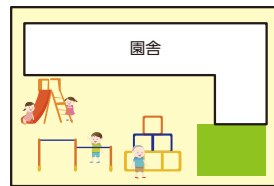
園児数、日照時間(ティフトン芝の場合6時間以上/1日)、維持管理のしやすさ、遊具場所、芝生と砂地との使い方等を考慮しましょう。

1 園庭の全面芝生化



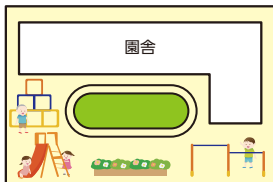
園庭全面を使った遊びや、運動の効果を十分感じられる

2 園庭の一部芝生化



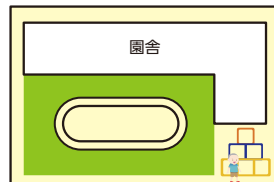
芝生が傷みにくく遊びに使いやすいレイアウト

3 園庭中央を楕円形で芝生化



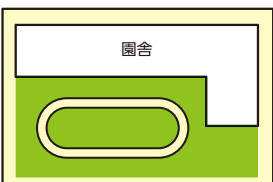
運動会やイベントで芝生を活用したい施設におすすめ

4 園庭外周を芝生化



芝生と砂地、両方の良さを活かせる

5 トラックを除く芝生化



運動会でも使いやすく芝生の効果を十分感じられる

6 動線を選んだ芝生化



傷みやすい通り道を選んだレイアウトで、芝生と動線が分かりやすい

芝生に不向きな場所と対応例

芝生化しても上手く育たない場所と対応例を紹介します。
芝生化を検討する際、以下の事例の場所は特に留意してください。

芝生に不向きな場所

対応例

高木の下

芝生の生育には日当たりが必要。
日照時間は6時間/1日以上が望ましい。
日陰に強い芝種を選ぶ、樹木の剪定をするなど日陰対策の工夫をする。



つきやま 築山

斜面の上り下りは芝生に負担がかかり、
擦り切れやすくなる。
通り道を作ることで、芝生への負担を軽減することができる。



動線部分

頻繁に人が通る所や利用する場所は踏圧で
擦り切れやすく、土壌が固くなりやすい。
あらかじめ動線となる部分を避けたレイア
ウトや、施工時に保護マットを取り入れる
などの工夫をする。



遊具の下

頻繁に踏まれる部分は芝生が擦り切れ、
消滅する可能性が高くなる。
保護マットを取り入れるなどの工夫で負
担を軽減することができる。



水はけの悪い場所

排水不良は芝生の根腐れやコケの発生、
病気誘発の原因となる。
排水ますや暗渠管あんきょかんを設置するなど排水環
境を整えることで改善される。



砂場・プールの周り

芝が砂やプールで覆われた状態が続く
と、芝生の生長が妨げられる。
芝生との間にスペースを設けるなどの工
夫をする。

